

JISK

(司法手続きき仲介者
スターターキット)

モジュール 8

JIのレジリエンスと守るべき境界

www.justiceintermediary.org



司法仲介者（JI）の感情面で、 困難を与える状況とは何ですか？

JIは、仕事の性質上、障害者が日常的に直面する困難や差別の話を聞きます。例えば介護のニーズが満たされないことだったり、貧困や失業などの問題だったりして、JIは落ち着かない気持ちになるかもしれません。

強姦や殺人などの刑事事件の詳細を、被告人と申立人の両方の立場から聞いたり、子どもを傷つけるに至った子育ての困難について聞いたりすることは、特に苦痛を伴うことがあります。

長い伝統を持つ法制度の現状に意をとなえることも、容易ではありません。JIは、警察や裁判所にとって馴染みのない配慮を求めることも多く、既成の制度に対する脅威とみなされてしまうこともあります。

JIは基本的に単独で働き、同僚と一緒に働くことはまれです。したがって孤独な仕事になる可能性があります。また休廷中、弁護士、裁判官、警察は、待機する部屋を持っていますが、JIは廊下で待たされるでしょう。

事件の詳細は通常守秘義務があり、家に帰って家族や友人と自分の経験を分かち合うことはできません。多くの場合、友人たちは、自分たちがほとんど知らされていない人生の恐ろしい、しばしば悲劇的な事実を聞いたがらないものです。

新しい職業であるJIは、たとえ法律で支持されていても、自らの立場や、立ち会う権利があることを説明し、正当化しなければならないことが多いでしょう。法制度が変化を受け入れるには、何年もかかります。



JIの仕事は、トラウマとなり得ますか？

前ページで述べたJIの仕事の経験に対して、皆が同じ反応をするわけではありません。物事を皮肉に捉えるようになる人や恐怖感を抱くようになる人もいます。一方、今あるものに感謝するようになる人もいます。

JI各人の反応は、ネガティブ、ニュートラル、ポジティブのいずれもありえます。また反応は時間の経過とともに変化し、扱うケースにもよります。特に長期間こうした経験にさらされることで反応が変化することもあります。



「ネガティブな反応」には、「代理トラウマ」(Vicarious traumatization)があります。それは、JIがトラウマを経験した人と仕事をするとき起こる変化で、様々な心理社会的症状が表れます。

「ニュートラルな反応」は、JIのリジリエンス、経験、サポート、コーピングの方略が、トラウマの材料をコントロールする方法を反映することがあります。

「ポジティブな反応」には、「代理リジリエンス」(Vicarious Resilience)があります。これは新しい概念で、JIが、障害のある当事者の逆境が転じてポジティブに変わることによって、JIのリジリエンスも促進されることを意味しています。

「共感満足」(compassion satisfaction)は、対人的な援助の中で喜びや充実感などを体験することです。このような肯定的な感情体験は、人を動機づけると同時に、トラウマの話をお聴きすることからくる悪影響から人を守ることができます。

これは明らかに複雑な領域ですが、無視してはならない領域です

司法仲介者の2つの経験

「厳しい経験」

「やりがいの感覚」

この仕事は、JIの感情面の回復力において非常に厳しいものです。人によって反応が異なります。





心のレジリエンスとは何ですか？

レジリエンス（心の回復力）には多くの定義があります。

次は3つの主な特徴です。：

1. 現実を受け入れかつ、全体像を見る力
2. 人生は意味があるという信念、しばしば強い価値感と目的意識を伴う
3. 即興で道を切り開く力

JIが心のレジリエンスを維持し、良好な精神状態を保つ重要性は何ですか？

「現実を受け入れかつ、全体像を見ること」：JIは、現状の環境、伝統、長年の司法手続きなどを受容した上で、それらに立ち向かわなければなりません。

JIの仕事は、障害のある個人を援助する観点のみから見るのではなく、司法の制度をより良い方向に変えるための段階的なアプローチとしての観点から見るのが大事です。

制度が一夜にして変わるということはありません。したがってJIは成功しなかった経験があっても、それにひきずられることなく、制度の変化を求めていることに焦点を当てる必要があります。これは単に「楽観的であること」とは本質的に異なります。

「強い価値観と目的意識」：JIは、障害のある人々がより公正な司法へのアクセスを得られるよう課題に挑みます。JIは、人権、平等、公正に関する強い目的意識と全体的な価値観を持っている必要があります。

「即興で道を切り開くこと」：合理的配慮を実現し、裁判所の認可を得るためには、比較的硬直した法制度の中で、JIは創意工夫し、順応性と柔軟性をもってアプローチすることが必要です。

専門的なサポートのネットワークを構築することは不可欠です。



JIの心のレジリエンス維持をサポートする

新しいJIスキームを設定するときは、次のことを確認して、JIの役割のこれらの側面に対処することが重要になります：

- 同僚からのサポートと監督
- 法制度による手続きや認識の整備
- 時間や仕事量の管理
- 個人の能力の範囲を超えないこと
- 役割の境界を認識する。

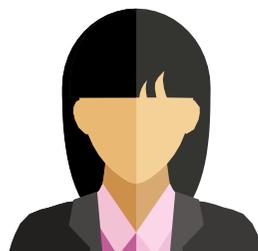
JIの感情面の回復力をサポートすることは重要であり、このモジュールはいくつかのアイデアを提供します。

資料と参考文献があります
モジュール 11 「リソース」に。

他の支援者との役割の境界

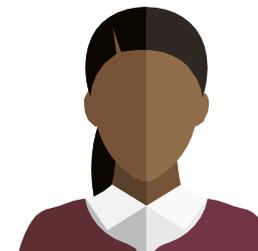
JIの任務は、それぞれの国や州に特有のものであります。モジュール9「世界のJIの実践」に、いくつかのJI制度についての詳細な情報があります。

例えば、弁護士、「適切な大人(Appropriate Adult)」、介護スタッフ、精神科看護師など、その国の法制度や既に存在する他の役割との境界もあります。司法制度における 障害者に支援やサポートを提供する人々の役割には、いくつかの混乱や重複があります。



法律と無関係の 擁護者

障害者のニーズに関連する人権問題を認識し、障害者に代わって主張する人物。そのやり方は思い入れの程度が強いかも知れません。



「適切な大人 (Appropriate Adult)」

障害者の権利と福祉のため警察によって任命された人。コミュニケーションに特化した支援ニーズには詳しくない可能性がある。



通訳者

当人が当地の司法制度の言語を話さない（または十分に流暢に話せない）場合、通訳が通訳をしますが、状況によっては、直接的な通訳に加えて、何が起きているのかを説明しようとする場合もあります。

JIにとって困難な状況の例

それぞれの状況は特異であり、常に正しい、または単純な答えがあるとは限りません。



デビッドはJIと弁護士に、法廷で証拠を提出したくないと言った。弁護士が、彼が証拠を提出しないことで陪審員に与えるネガティブな影響を説明しても、彼の意志は変わらなかった。JIはデビッドに証拠を提出するように勧めるべきですか？もしそうなら、どのように？



JIは、弁護士の説明に先んじて、デビッドがその決意の意味を理解していることを確認する責任があります。JIは、推奨および承認された配慮についても説明できます。ただし、促すことはJIの責任ではありません。



オリーブは証人として法廷に出席するように求められましたが、彼女は行くことを拒否しています。JIは、彼女に出席を促すことに関与する必要がありますか、またどのように関与するべきですか？



JIは、不安や予測される困難を軽減するために考慮されている配慮について説明する責任があります。ただし、どちらかの道を選ぶよう勧めることは、JIの役割ではありません。



ジョルジオは「同意」の意味を理解していません。証言の間、弁護士が、申立人に対して、セックスに同意したかどうか尋ね続けます。JIは質問中に介入する必要がありますか？どのように？



JIがとるべき最善の道は、証言が始まる前に、ジョルジオが「同意」という言葉をどのように理解しているかを確認し、彼の弁護士との会議において、このことが事件に与える影響を理解するのを助けることです。次に、JIは、「同意」という言葉を単純化する必要があることを事前に弁護士に伝えることができます。これが議論されていない場合、JIは質問が出されたらすぐに、そしてジョージが答える前に、この言葉の意味を単純化して伝える必要があります。



証拠提出の休憩中に、イゾベラはJIに、法廷に入る直前に薬を過剰摂取したことを伝えました。JIは裁判所に伝えるべきですか？JIはこれをどうするべきですか？



JIはイゾベラに対して注意義務を負っています。JIは、イゾベラに対して、弁護士または、それが最も迅速な方法である場合は、警備員に伝える必要があることを説明する必要があります。イゾベラが同意しなくても、JIは皆に知らせて救急車を呼ぶことが重要だと感じるでしょう。



シムはガールフレンドを虐待したとして告発されています。彼はJIに、子どものとき虐待されたと伝えましたが、弁護士にはそれを伝えませんでした。JIは弁護士に言うべきですか？JIはシムに対して、弁護士に話すように勧めるべきですか？



コミュニケーションを最大化するのがJIの役割です。おそらくJIはシムに対して、弁護士に話すよう勧めるべきですが、弁護士に直接通知することはJIの責任ではありません。



ハリドには弁護士に支払うお金がないので、彼は自分で自分を弁護するつもりです。しかし、彼はコミュニケーション障害があるので、JIの助けを求めています。



これは、その国の仕組みで構築された手続き規則によって異なります。JIがうかつに準法的助言の提供に関与してしまうと、訴えられる可能性があります。ハリドが法律とコミュニケーションのどちらの助言も得られないことは不公平に思えるかもしれませんが、JIが仲介すると職務上、危険な状況に陥る可能性があります。



エイブは不安を和らげるためにタバコを吸います。彼は非常に傷つきやすく、いつもは、外出時に同行する人がいます。虐待の経験に関する警察による尋問の休憩中に、彼はJIに、タバコがないから、外に出て、通りすがりの人からタバコをもらえないか訊いてみたいと言いました。彼にはタバコを買うお金がありませんでした。JIは喫煙者です。JIはエイブにタバコを与えるべきですか？



彼の不安を和らげるためのタバコの提供は、彼が一人で外出するリスクを減らす配慮とみなされるかもしれません。おそらく、これは警察官と相談するのがよいでしょう。



まとめ

1. JIの仕事には、精神的に大きな負担がかかることがある
2. JIはそれぞれ独自の方法で、状況に対応する
3. JIが良好な精神状態を保つことは重要である
4. JIスキームの中にレジリエンス維持のためのサポートを組み込む必要がある
5. JIが自らの役割の境界を守ることは、感情移入をしすぎないことに役立つ



考察ツール：モジュール 8

ここでユーザーの皆さんには、モジュールの内容を振り返っていただきます。また、私たちがコンテンツの改善と更新を継続的に行う手助けをしてもらえれば幸いです。

それでは、あなたの考察を共有するために、

ここをクリック
してください。

この仕事に採用された人びとは、感情面の回復力のトレーニングを受けている可能性がありますか？

感情面の回復力と境界の認識は、選抜の過程における一つの要因となりますか？

次ページに続く...



JIにとって役立つと思われる公式または非公式のサポートネットワークは何ですか？

JIの役割に明確な境界が設定されていることをどうすれば確認できますか？

サポートシステムをJIスキームにどのように組み込むことができますか？